人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邉暁雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2025 10 OCT

第774回
東京定期演奏会



サントリーホール
2025年10月17日（金）19:00　10月18日（土）14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

電源 OFF



演奏中は携帯電話や時計のアラームなど
デジタル機器の電源はお切りください。

音に ご注意を



ビニール袋
鞄にしまう、またはいすの下へ置くなど
物音がたたないようにご配慮ください。



マジックテープやファスナーの音
開け閉めの音は意外に響きます。
演奏前にご確認ください。



飴の袋
客席内の飲食はご遠慮いただいて
おります。お咳の予防等でご利用
の際は、演奏前にお口の中に
いれるか、あらかじめ袋から出して
おく等のご準備をお願いいたします。



鈴などアクセサリーがついたストラップ
鞄にしまうなど鳴らないように
ご配慮ください。



補聴器の音
ハウリングをおこさないよう、
しっかりと装着し、適切な音量に
調整をお願いいたします。

声と拍手に ご注意を



演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って
響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。
最後の余韻までお楽しみください。

撮影 禁止



演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終演後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周囲に ご配慮を



席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮って
いることもございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、
動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
・フラッシュの使用はお控えください
・動画の撮影はお控えください
・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
・自撮り棒などの使用はお控えください
・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください（録音・録画は違法行為です）

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ　#日本フィル　#japanphil　をつけてください!

CONTENTS
目 次



©山口 敦

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 増田 良介 - 9
- 次回東京定期演奏会　指揮者にインタビュー　小林 研一郎編 12
- 今後の日本フィル出演公演 14
- 70周年記念特別演奏会記者懇談会レポート 16
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 19
- 写真プレイバック- 2025年6月～7月 - 20
- 第九特別演奏会2025 21
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 29
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 30
- パトロネージュご芳名 34
- 日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名 36
- メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧 37
- インフォメーション 38
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 39

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION CONCERTS　Vol.774

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 774th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第774回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2025年10月17日(金)午後7時開演／18日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 17th & 2:00p.m., Saturday, 18th October, 2025

■ プレトーク「本日の聴きどころ」
東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。
今月は八木宏之さんです。

金曜日／18：30～
土曜日／13：20～

主　催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協　賛／株式会社ウテナ　鹿島建設株式会社
TANAKEN株式会社
ホッカンホールディングス株式会社
三井不動産株式会社　UBE株式会社
後　援／駐日シンガポール共和国大使館
助　成／文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

表紙イラスト／小澤 一雄

指揮者インタビューはこちらから▶
（9月東京定期プログラム掲載）

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番 ハ短調 op.35*　約25分
Dmitri SHOSTAKOVICH: Concerto for Piano and Orchestra No.1 in C-minor, op.35

休憩(15分) Intermission

ショスタコーヴィチ：交響曲第11番《1905年》 ト短調 op.103　約60分
Dmitri SHOSTAKOVICH: Symphony No.11 "1905 god" in G-minor, op.103

指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

ピアノ：小川典子*
Piano: OGAWA Noriko

トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ［ソロ・トランペット］*
Trumpet: Ottaviano CRISTOFOLI, Solo Trumpet

コンサートマスター：扇谷 泰朋［ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ご自宅で公演の感動を何度でも

10月17日(金)公演はライブ＆アーカイブ配信あり!

販売期間：～2026年4月16日
視聴期間：購入から3か月
料　　金：1,000円

Member's TVU CHANNELにて配信
https://members.tvuch.com

現在配信中の公演及び配信予定はP37をご覧ください


©Ayane Sato

Conductor 指揮

カーチュン・ウォン［首席指揮者］
Kahchun WONG, Chief Conductor

シンガポール生まれのカーチュン・ウォンは、舞台におけるその圧倒的な存在感と東西の音楽的遺産を探求し続ける思慮深さにおいて国際的に高い評価を得ている。2023年より日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、そして2024年秋にサー・マーク・エルダーの後任として英国の名門オーケストラ、ハレ管弦楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。2025年夏、英国タイムズ紙が「最高となる五つ星を超えた六つ星に値する」と絶賛したハレ管弦楽団とマーラー交響曲第2番《復活》でのBBCプロムスへの鮮烈なデビューは記憶に新しい。

2016年マーラー国際指揮者コンクールでの優勝以来、ウォンはクリーヴランド管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする世界有数のオーケストラに客演。

現代作曲家と異文化対話の積極的な推進者でもあるウォンはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン《火の儀式》、BBC交響楽団と細川俊夫《祈る人》、シアトル交響楽団と共にリーナ・エスマイル《ヒンドゥスタンヴァイオリンの為の協奏曲》の世界初演を指揮。ドレスデン・フィル首席客演指揮者時代にはナロン・プランチャルーン《影の反映》を委嘱。ニュルンベルク交響楽団首席指揮者としての最終公演ではムソルグスキー《展覧会の絵》を五種類の中国民族楽器とオーケストラのためにウォン自身が再構築し、「クラシック・オープン・エア音楽祭」で75,000人の聴衆の前にて披露され、その演奏はドイツ語圏公共放送チャンネルおよびバイエルン放送を通じて国際的に放送された。

ハレ管弦楽団の任期初年度にリリースされたブリテン《パゴダの王子》およびブルックナー交響曲第9番の録音は、英国グラモフォン誌（2025年6月号）において「すべてのブルックナー愛好家必聴」と高く評価された。今秋、新たに同楽団とマーラー交響曲第2番《復活》がリリースされている。


©Patrick Allen operaomnia.co.uk

Piano ピアノ

小川 典子
OGAWA Noriko

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来35年以上、英国と日本を拠点に世界の主要オーケストラ・指揮者との共演や、室内楽、リサイタル等で世界各国へ演奏旅行を行う他、国際的なコンクールでの審査、各国でのマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開中。

BISより40枚近いCDを発売。2021年には世界初録音のR.デュビュニョン『クラヴィアリアーナ』、『サティ：ピアノ独奏曲全曲集Vol.4"ルラーシュ・シネマ"』等が次々と発売された。

2013、14年にはBBCプロムスへ連続出演。その後ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルグ響、BBC響など英国ツアーのソリストとして共演。またイギリス、フランス、ドイツ、ポーランド、韓国を始め数々の音楽祭にも招聘され、リサイタルやマスタークラスを行う。

リーズ国際、グリーグ国際、クリーブランド国際コンクール審査員。2020～2024年浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。第10～12回浜松国際ピアノコンクール審査委員長。2018～2024年国際音楽コンクール世界連盟役員。

英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。NAS英国自閉症協会文化大使、イプスウィッチ管弦楽協会名誉パトロン。

文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、川崎市文化賞受賞。

2017年11月にはこれまでの貢献をたたえて英国ギルドホール音楽院より「フェロー」の称号が授与された。著書『夢はピアノとともに』。訳書『静けさの中から』。

オフィシャルHP
http://www.norikoogawa.com/


©井村 重人

Trumpet トランペット

オッタビアーノ・クリストーフォリ［ソロ・トランペット］

Ottaviano CRISTOFOLI, Solo Trumpet

イタリア・ウーディネ出身。ヤコポ・トマディーニ音楽院を卒業し、イタリア・ユース・オーケストラ、シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭などへの参加、イタリアのプロオーケストラへの客演などヨーロッパでの活動を重ねた後に渡米。アメリカにてシカゴ交響楽団の金管奏者たちに師事し研鑽を積む。

2008年、兵庫芸術文化センター管弦楽団に入団。翌2009年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団し、現在同団のソロ・トランペット奏者を務める。2016年より日本国内のオーケストラ、スタジオ・ミュージシャンのトップ奏者による金管アンサンブル『侍BRASS』に参加。2019年には国際音楽アカデミー「Music System」を設立、芸術監督として日本・イタリアを中心に後進の育成にも力を注いでいる。

これまでに首席奏者として、フィラディアフィル管弦楽団、ポーランド国立放送交響楽団、ローマ歌劇場管弦楽団、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団、はじめ国内外のオーケストラに客演。

ソリストとしては日本フィルハーモニー交響楽団とトランペット協奏曲（ハイドン、アルチュニアンなど）を共演するほか、ショスタコーヴィチの「ピアノ協奏曲第１番」ではこれまでに兵庫芸術文化センター管弦楽団（指揮：カーチュン・ウォン、ピアノ：小曽根真）や、ジャパン・ナショナル・オーケストラ（指揮：佐渡裕、ピアノ：反田恭平）ほか数多くのオーケストラと共演を重ねる。また伊藤康英、ガブリエル・ロベルト、マリオ・コルヴィーニなど現代作曲家の協奏曲初演も務めている。

近年は自身のリサイタルや室内楽編成の活動も積極的に行い、ブラームス「ホルン三重奏曲（フリューゲルホルン版）」など、トランペットによる新しい表現やレパートリーの拡張にも挑戦している。

これまでに3枚のソロCDをリリース。最新盤『ヴィヴァルディ(コルヴィーニ編曲):四季～ソロ・トランペットと弦楽アンサンブルのための』ではヴィヴァルディの四季を全編トランペットソロで演奏し好評を得た。

プログラム・ノート 解説：増田 良介

◆ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第１番 ハ短調 op.35

ドミトリー・ショスタコーヴィチ（1906-1975）は、第1回ショパン・コンクール（1927年）にソ連代表として参加したほどのピアノの名手だった。なお、このとき優勝したのは、彼の友人で、同じくソ連代表として出場したレフ・オボーリンだった。作曲も高く評価されていたオボーリンは、やがてソ連を代表するピアニストになったのに対し、成績が振るわなかったショスタコーヴィチはピアニストの道を断念し、専業の作曲家となった。

とはいえ彼は、ほぼ自作に限ってではあったが、後年まで演奏活動を続けていた。ユーモアとパロディ精神に満ちたこの協奏曲も、彼がしばしば演奏会で弾いていた作品だ。

ピアノ協奏曲第1番は、《24の前奏曲》op.34が完成したわずか4日後の1933年3月6日に着手され、7月20日に完成した。当初この曲は、レニングラード・フィルハーモニー交響楽団のトランペット奏者アレクサンドル・シュミットのためのトランペット協奏曲として構想されたのだが、途中で、ピアノとトランペットのための二重協奏曲に変更、そして最終的にソロ・トランペットを伴うピアノ協奏曲となったという。

初演は、1933年10月15日、レニングラード・フィルのシーズン開幕を告げるコンサートにおいて、作曲者のピアノ、シュミットのトランペット、フリッツ・シュティドリーの指揮で行われ、大成功を収めた。11月にレニングラードで行われた再演（ドラニシュニコフ指揮）、12月のモスクワ初演（ガウク指揮）も好評だった。なお、これらの演奏では、すべて作曲者がピアノ独奏を担当している。

全曲は4つの楽章からなり、続けて演奏される。

第1楽章 アレグレット

ソナタ形式。短い序奏に続き、ベートーヴェンの《熱情》ソナタを思わせる第1主題をピアノが弾く。これに対する第２主題は、ドミソの音だけでできた、軍隊ラッパのような（といってもトランペットではなくピアノが提示する）音型ではじまり、最後の最後には音を外したように聞こえるユーモラスなものだ。

第2楽章 レント

三部形式のゆったりとした瞑想的なワルツ。弱音器付きのヴァイオリンが弾くひんやりとした旋律と、それに続いてピアノが弾く抒情的な旋律が、次第に高まっていく。

第3楽章 モデラート

間奏曲のような役割の短い楽章。即興演奏のようなピアノ・ソロに、第2楽章の続きのような重々しい弦が

割り込んでくるが、やがてピアノが復帰し、そのまま終楽章に突入する。

第4楽章 アレグロ・コン・ブリオ

急速でにぎやかなロンド形式のフィナーレ。ハイドンのピアノ・ソナタニ長調Hob.XVI/37や、ベートーヴェンのロンド・ア・カプリッチョ『なくした小銭への怒り』などの引用も現れる。終わり近くにあらわれるカデンツァは、レフ・オボーリンの要望によって追加されたものだ。

楽器編成：独奏ピアノ、独奏トランペット、弦楽5部。

◆ショスタコーヴィチ：交響曲第11番《1905年》ト短調 op.103

1905年1月22日（旧ロシア暦では9日）、皇帝に請願をするために、人々がサンクトペテルブルクの冬宮広場に向かって歩いていた。これは平和的な行進だったのだが、突然、広場の守備をしていた軍隊が彼らに対して発砲し、多くの死傷者が出た。これが「血の日曜日」事件だ。ショスタコーヴィチの交響曲第11番《1905年》は、この事件を中心に、これをきっかけとして起こったロシアの第一次革命を生々しく描きだした標題交響曲だ。作曲は1956年に開始され、翌年8月4日に全曲が完成した。

彼の交響曲には、いまなおその真意について議論されている謎めいた曲も多いのだが、この第11番は、巨大な交響詩に近い、わかりやすい描写音楽で、いわば例外的な作品と言える。親しみ深い革命歌の旋律をふんだんに引用しつつ、自分たちのよく知る歴史を描いたこの曲は、当時のソ連において、高い人気を博した。その一方で、西側諸国では、体制を肯定する底の浅い音楽として酷評され、長い間、めったに演奏されることがなかった。

しかし、1980年代から、この曲に対する見方は大きく変化し、現在では、1905年の革命を描くことを通じて現代の普遍的な悲劇を描いた傑作として、世界中で広く演奏されるようになっている。かつてのように、単純にソ連体制を讃えた音楽とみなす人はほとんどいない。

実際、この曲を作曲中の1957年1月10日、ショスタコーヴィチが「これは《森の歌》みたいなものにはならないよ！」と強い調子で語ったということを、友人のイサーク・グリークマンが伝えている。体制に迎合し、礼賛する音楽を書くつもりはないという意思表示だ。そもそもこの曲が書かれたころ、スターリンはすでにこの世になく、ショスタコーヴィチにも身の危険はなくなっていた。無理に体制の機嫌を取る必要などなかったのだ。

では、ショスタコーヴィチはなぜこのような曲を書いたのか。有力なのは、作曲の前年、1956年10月に起こったハンガリー動乱が重ね合わせられているのではないかという説だ。この事件では、蜂起した民衆を鎮圧するためにソ連軍がハンガリーに出動し、多くの人々が犠牲となった。この曲の「血の日曜日」の描写に、動乱の記憶が多少なりとも反映していると考えるのは、不自然な考えではないだろう。だとすると、この交響曲は、体制礼賛どころか、暗にソ連政府を批判している音楽ということになる。

初演は1957年10月30日、モスクワにおいて、ナタン・ラフリン指揮ソヴィエト国立交響楽団によって行われた。レニングラードでは、11月3日にエフゲニー・ムラヴィンスキー指揮レニングラード・フィルが演奏した。

第1楽章〈宮殿広場〉　アダージョ

全曲の序奏にあたる楽章。1月9日の事件を控えた冬宮殿前広場を描く。寒さと暗さと、これから起こる惨事を予感させる不吉な雰囲気に満ちている。この楽章では、《聞いてくれ》（フルートの歌う、三連符を特徴とする旋律）と《夜は暗い》（低弦で始まる重々しい旋律）という、二つの囚人歌が使われている。なお、各楽章間に切れ目はなく、すべての楽章は続けて演奏される。

第2楽章〈1月9日〉　アレグロ

請願のために、冬宮殿広場へと歩いていく民衆、そして、彼らに対する一斉射撃を描く。最初に出てくるのは、ショスタコーヴィチ自身の合唱曲《10の詩曲》op.88からの〈1月9日〉の旋律だ。緊迫した音楽が続くが、やがてそれは一旦静まり、第1楽章冒頭の音楽が戻ってくる。これは、行進が宮殿に到着したことを示すと思われる。突然小太鼓の銃声が響き、人々の混乱を描くように弦のフガートがはじまる。銃撃は激しさを増し、いつ終わるともなく続く。

第3楽章〈永遠の追憶〉　アダージョ

「血の日曜日」で殺された人々を悼む葬送の音楽。楽章冒頭では、当時、実際に犠牲者たちの葬儀で歌われた《同志は仆れぬ》の旋律が使われている。これは、ブリテンの《ロシアの葬送》やK・A・ハルトマンの《葬送協奏曲》にも用いられた有名な歌だ。中間部では《こんにちは、自由よ》が現れる。

第4楽章〈警鐘〉　アレグロ・ノン・トロッポ

冒頭で《圧制者よ怒れ》が金管で現れる。もはや抑えることの出来ない人々の行進、そして止められない歴史の歩みを表すかのような、激しく決然とした行進曲だ。途中には「ワルシャワ労働歌」やスヴィリードフのオペレッタ《ともしび》からの〈雷鳴の夜はなぜつらい〉の旋律も出てくる。終結部では警鐘が激しく打ち鳴らされる。

楽器編成：フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ3（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット3（バス・クラリネット持替1）、ファゴット3（コントラ・ファゴット持替1）、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、シロフォン、鐘、ハープ2、チェレスタ、弦楽5部。

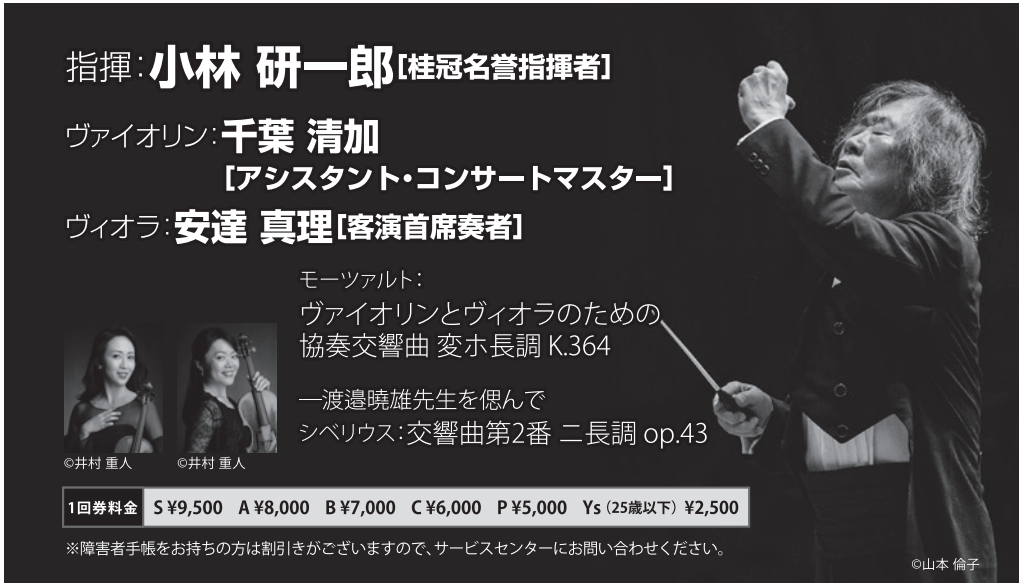
NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会
第775回

サントリーホール

2025年10月31日(金)19:00開演　プレトーク　奥田 佳道氏 18:30〜
11月　1日(土)14:00開演 13:20〜

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

想いを紡ぐ炎のコバケン、70周年へ向けて贈る特別な響き



次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー！

小林 研一郎 編
きき手　伊熊 よし子

恩師・渡邉曉雄から受け継いだシベリウスの魂、コバケンが全身全霊を傾けて演奏する

国内外で活発な活動を展開している指揮者の小林研一郎（愛称コバケン）が、日本フィルハーモニー交響楽団の東京定期演奏会で、モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲とシベリウスの交響曲第2番というプログラムを披露する。その演奏に向けて作品と対峙する姿勢、解釈などを伺った。

「モーツァルトの協奏交響曲はふたつの独奏楽器がオーケストラとともに響き合い、両者が雄弁な音の対話を繰り広げる作品です。モーツァルトは華やかなヴァイオリンと深々としたヴィオラという音色の違いがうまく使い分け、それぞれの楽器の特質を存分に生かしています。こういう作品は、ソリストもオーケストラもできる限りの力を振り絞っていい演奏をしようと心がけ、聴衆もモーツァルトの作品のすばらしさを味わおうと思って集中して聴いてくれます。ですから、僕もその熱意に応えられるようモーツァルトの作品のよさを存分に表現できるよう、最高の演奏を生み出したいと考えています」

今回のソリストは日本フィルが誇るヴァイオリンの千葉清加、ヴィオラの安達真理が務める。安達真理の調弦はオリジナルのスコラダトゥーラで全曲演奏予定している（初挑戦）。

「ふたりともすばらしい奏者で、千葉さんとはモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番で共演したことがありますが、友人が書いたというカデンツァを用い、すばらしくいい音を披露しました。それを聴いてオーケストラも力を尽くしてくれ、心が打たれました。安達さんの初挑戦にも大きな期待をしています」

シベリウスの交響曲第2番は渡邉曉雄が得意とし、日本フィルの社歌とも呼ぶべき作品。1961年に渡邉曉雄指揮日本フィルが世界初の交響曲録音を行ったなかに収録されている。

「シベリウスの交響曲第2番は、1995年に初めてチェコ・フィルを指揮して録音した思い出深い作品です。録音当日、ドヴォルザーク・ホールにヴァーツラフ・ノイマン先生が現れ、オーケストラが凛とした姿勢で演奏し、僕もそれに触発されてとてもいい録音が出来上がりました。この交響曲は渡邉曉雄先生と山田一雄先生から指導を受けましたが、ふたりともとても厳しく、渡邉先生からは「君を蹴っ飛ばしたくなる」といわれ、山田先生は「君が嫌いだ」と半年間も口をきいてくれなかった（笑）。早く自分たちのような音楽ができるように頑張れ、“早くここまで来いよ”という、愛のムチだったと思っています」

それでは、第1楽章から第4楽章まで、どのような思いで作品と向き合うのだろうか。

「まず、第1楽章のホルンが宇宙の遠くから聴こえてきて、ニ長調なのにニ短調のように聴こえる、その不思議さ。チェコ・フィルのときは、あまりに美しいホルンの響きに涙が止まりませんでした。第2楽章はコントラバスとチェロが波のように押し寄せ、それは地底から響いてくるよう。僕は子どものころ、父親から高波が押し寄せてくるため早く逃げろといわれた、その波の押し寄せる状況が思い出されます。第3楽章になると、ヴァイオリンが“今度は自分たちも”と音をたぎらせる。ここでは、僕は弦の元を使ってたたくように、という指示を出しますが、チェコ・フィルのときもこの新たな方法に楽員がみんな歓びの表情を見せてくれたことを思い出します。そして第4楽章は、すべての楽器が美しい祈りを捧げるように崇高な音楽を奏でます。渡邉先生が向こうの世界から叱咤激励している様子が見えるようですので、その思いに応えられるよう、心を込めて演奏します」

コバケンの全身全霊を傾けたシベリウスは、聴き手も涙がこぼれるに違いない。

今後の日本フィル出演公演 2025年10月〜12月

2025	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
10月	第411回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール **25**[土]**15:00**	指揮:藤岡 幸夫 トロンボーン:伊藤 雄太[首席奏者] 吉松隆: アトム・ハーツ・クラブ組曲第1番 吉松隆:トロンボーン協奏曲 《オリオン・マシーン》 シベリウス:交響曲第1番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
10月	第411回名曲コンサート サントリーホール **26**[日]**14:00**	指揮:大井 剛史 ソプラノ:宮地 江奈 メゾソプラノ:富岡 明子 テノール:櫻田 亮　バリトン:黒田 祐貴 オルガン:石丸 由佳 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団 J.S.バッハ: オルガン協奏曲BWV593(オルガン独奏) モーツァルト:教会ソナタより第12番、第14番、第17番(オルガン+管弦楽) モーツァルト:レクイエム(ジュスマイヤー版) モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
10月	第775回東京定期演奏会 サントリーホール[11月公演分] **31**[金]**19:00**	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:千葉 清加 [アシスタント・コンサートマスター] ヴィオラ:安達 真理[客演首席奏者] モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 シベリウス:交響曲第2番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	第775回東京定期演奏会 サントリーホール **1**[土]**14:00**		
11月	コバケン・ワールド in KYOTO Vol.5 ロームシアター京都 **3**[月・祝]**14:00**	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] チェロ:宮田 大 グリンカ: 歌劇《ルスランとリュドミラ》序曲 チャイコフスキー: ロココ風の主題による変奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	第26回相模原定期演奏会 相模女子大学グリーンホール **8**[土]**14:00**	指揮:飯森 範親 ピアノ:古海 行子* グリーグ:ピアノ協奏曲* ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911[平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp
公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp

2025	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
11月	第152回さいたま定期演奏会 ソニックシティ **15**[土]**14:00**	指揮:西本 智実 ヴァイオリン:金川 真弓 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ドビュッシー(ビュッセル編曲):小組曲 ラヴェル:ボレロ	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	第257回芸劇シリーズ 東京芸術劇場 **16**[日]**14:00**		
11月	第412回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール **22**[土]**15:00**	指揮:太田 弦 ピアノ:牛田 智大 ショパン:ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第5番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	第78回杉並定期演奏会 杉並公会堂 **23**[日]**15:00** 完売		お問合せ:杉並公会堂
11月	第776回東京定期演奏会 サントリーホール[12月公演分] **28**[金]**19:00** **29**[土]**14:00**	指揮:山田 和樹 バリトン:加耒 徹* ソプラノ:熊木 夕茉** 合唱:東京音楽大学*** ドビュッシー:バレエ音楽《遊戯》 武満徹:マイ・ウェイ・オブ・ライフ ーマイケル・ヴァイナーの追憶にー*,*** ラヴェル:ボレロ プーランク:スターバト・マーテル**,***	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
12月	宇都宮第九合唱団 第44回第九演奏会 宇都宮市文化会館 **6**[土]**15:30**	指揮: 広上淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ソプラノ:砂川 涼子 メゾソプラノ:金子 美香 テノール:工藤 和真　バリトン:高橋 宏典 合唱:宇都宮第九合唱団 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》 他	お問合せ: 宇都宮第九合唱団
12月	東京フロイデ合唱団 第25回「第九」演奏会 東京芸術劇場 **7**[日]**14:00**	指揮:小松 長生 ソプラノ:佐藤 美枝子 メゾソプラノ:林 美智子 テノール:西村 悟　バリトン:加耒 徹 合唱:東京フロイデ合唱団 ヴェルディ:歌劇《アイーダ》より凱旋行進曲 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	お問合せ: 東京フロイデ合唱団
12月	日本フィル・ソニックシティ 「第九」演奏会2025 ソニックシティ **12**[金]**19:00**	指揮:出口 大地 ピアノ:鈴木 愛美 ソプラノ:砂田 愛梨 メゾソプラノ:山下 裕賀 テノール:石井 基幾　バリトン:高橋 宏典 合唱:埼玉第九合唱団 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第2番 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	日本フィル・サービスセンター

70周年記念特別演奏会記者懇談会レポート

2025年9月11日（木）、杉並公会堂にて、70周年記念特別演奏会及び特別定期演奏会記者懇談会を開催しました。

多くの音楽・報道関係者の皆様にお集まりいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。以下に記者懇談会の内容をご報告いたします。

《登壇者》※敬称略
カーチュン・ウォン（首席指揮者）　※通訳：井上 裕佳子
石塚 邦雄（理事長）
益満 行裕（企画制作部部長）

【 理事長 石塚邦雄 】

本年6月に公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団の理事長に就任をいたしました。石塚邦雄でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。日本フィルハーモニー交響楽団は、1956年6月22日に創立され、来年の6月に、いよいよ70周年を迎えることになりました。この間、日本フィルは、芸術性と社会性というものを両輪として、オーケストラとお客様、そしてご支援くださる皆様、方との間に強い共鳴の輪を作ることができた、と思っております。これまでの皆様のご支援に深く、感謝を申し上げる次第でございます。その感謝の気持ちを込めて、70周年の記念の企画をお届けいたします。今後とも、日本フィルに温かいご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

【 首席指揮者 カーチュン・ウォン 】

日本フィルは創立70周年を迎え、いよいよマーラーの交響曲第8番に挑みます。これまで第5番、第4番、第3番、第9番、第2番を演奏し、今シーズンには第6番、そして70周年に第8番を予定しております。マーラー編曲によるベートーヴェンの第九も取り上げます。



©山口 敦

◆ 交響曲第8番《千人の交響曲》

交響曲第8番は壮大な物語を持つ傑作ですが、演奏には膨大な人員を要するため、実現の機会は多くありません。70周年という特別な節目だからこそ、皆さまにお届けできる運びとなりました。この構想を数年前から温め、プログラムに組み込んでくださった益満さんの先見にも感謝しております。JPOは6月22日に創立されましたので、かに座です。かに座のように「家族を大切にする精神」を持ちながら、これからも音楽をお届けしてまいります。

この特別公演では、船越亜弥さん、吉田珠代さん、三宅理恵さん、花房英里子さん、中島郁子さん、宮里直樹さん、青山貴さん、加藤宏隆さん、東京音楽大学や武蔵野合唱団、そして日本フィルハーモニー協会合唱団とも共演いたします。これまで日本フィルと共演してくださった方も多く、ご一緒するのが楽しみです。

◆ マーラー編曲のベートーヴェン《第九》

70周年の開幕にはベートーヴェンの第九を指揮します。世界各地でこの作品を演奏してまいりましたが、日本で第九を指揮するのは初めてです。新しい出発にふさわしい機会であり、マーラー編曲版を取り上げます。マーラーは決して独自色を押し付けるのではなく、ベートーヴェンの精神を大切にしています。木管を増やした編成など、かつての伝統的な演奏法を踏まえつつ、堂々たる響きを持つ編曲です。

◆ カーチュン・ウォン編曲による《展覧会の絵》

また、私自身の編曲による《展覧会の絵》も演奏します。ラヴェル版やヘンリー・ウッド版とも異なり、中国楽器を取り入れ、西洋オーケストラとの融合を試みた独自のオーケストレーションです。文化を超えた新しい響きを楽しんでいただけることでしょう。

◆ その他の公演

さらに、ブラームスの交響曲第1番で共演したサー・スティーヴン・ハフを再び迎え、今回はベートーヴェンの《皇帝》を演奏していただきます。若きトランペット奏者・児玉隼人さんとの共演も実現します。私が彼の演奏を初めてテレビで聴いたとき、その才能に衝撃を受け、すぐに日本フィルに推薦しました。今回、ハイドンのトランペット協奏曲でご一緒できることを心から楽しみにしています。

シーズンの最後には、ブルックナーの交響曲第8番を演奏します。マーラーの8番ではじまり、そしてブルックナーの8番――直接の関係はありませんが、「8」という数字には特別な意味を感じています。私の母国語である中国語では「8（バ）」の音が「発展」の「発（发/ファ）」と似ており、縁起の良い数字とされています。この幸運の数字を冠した交響曲をもって、記念すべきシーズンを締めくくりたいと思います。

【 企画制作部長 益滿行裕 】

先ほどマエストロがお話しくださったように、日本フィルは「家族を大切にするオーケストラ」であると、私自身20年近く関わってきて強く感じております。指揮者も任期が終わったら関係が途切れるのではなく、その後も長く共に歩んでいこうとする姿勢があり、その絆が今回のプログラムにも反映されています。もちろん、その中心にはマエストロ・ウォンの存在があります。おかげさまでマーラーの交響曲も、70周年の8番で7曲演奏することになります。その他のコンサートでも柔軟で魅力的なプログラムを提案してくださり、企画担当としても大変助かっております。

プログラム作りは難しい面もあり、「よく知られている名曲」と「やや専門的な作品」とをどう組み合わせるかが課題です。いずれか一方だけで構成することは容易ですが、幅広いお客様に楽しんでいただける形に仕上げるには工夫が必要です。その意味で、前理事長からの示唆も大変貴重なものであり、今回のラインナップにもその姿勢が表れていると思います。実際、公開直後からSNSなどで「名曲が多すぎる」「ややマニアックすぎる」といった声を拝見しました。しかし、それぞれの感じ方は異なりますし、むしろ多様な楽しみ方ができるプログラムであると考えております。どうぞ名曲も、珍しい作品も、それぞれの魅力を味わっていただければ幸いです。

記者懇談会の全レポートおよび
70周年記念特別演奏会、特別定期演奏会一覧はこちらから▶



あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

音楽と出会う瞬間を、心に残るものに
子どもたちと音楽をつなぐ、日本フィルのエデュケーション・プログラム

私たち日本フィルが大切にしている活動の一つが、「子どもたちと音楽をつなぐこと」です。
はじめて音楽と出会う瞬間の驚きや感動は、その後の人生に深く影響を与えるかもしれません。
体験を通じて、子どもたちが自分自身の感性と向き合い、世界を広げていけるように
そんな願いを込めて、さまざまなエデュケーション・プログラムを展開しています。

◆ 夏休みコンサート　～三世代に受け継がれる親子向け公演～

1975年に始まった「夏休みコンサート」は、親子三世代で楽しめる日本フィルの代表的な公演。オーケストラの演奏に加え、バレエやピアノ、歌など多彩な舞台表現が融合し、子どもたちの感性を刺激します。終演後には出演者と交流ができるイベントも実施。出演者とのふれあいも大切にし、音楽を"身近な体験"として届けています。

◆ みる・きく・さわるオーケストラ！　～五感で楽しむ一日～

毎年春、杉並公会堂で行われる「みる・きく・さわるオーケストラ!」では、0歳から入場可能な家族向け音楽イベントを開催。コンサートのほか、楽器体験やワークショップなど、音楽に触れる多彩な体験が一日で楽しめます。

◆ 学校や保育園での演奏　～日常の中で響く音楽～

小中学校、保育園など、日常の空間へ訪問し、室内楽の演奏をお届けしています。楽団員と子どもたちが近い距離で向き合い、楽器の音や仕組みに興味を持ち、音楽の楽しさを肌で感じられる場をつくっています。

◆ 音楽創造ワークショップ　～音楽の本質にふれる創造的な学び～

演奏をただ「聴く」だけでなく、作品の構造や背景をひも解きながら、作曲家の創作プロセスを追体験します。リズムや音の成り立ちといった音楽の本質を体験的に学ぶことで、創造性や探求心を育み、音楽をより深く理解する機会を提供します。





私たちが届けたいのは、単なる"鑑賞体験"ではありません。
音楽が記憶として残り、成長したときにまたどこかで響き合うような、そんな体験です。
「子どもの頃に行った夏休みコンサートが楽しかった」「学校で間近に見た演奏が印象に残っている」
そうした思い出が、やがて未来の音楽の担い手や支え手を育てていくと信じています。
子どもたちと音楽が出会う場を、これからも大切に育んでいきます。

すべての人に音楽を ー日本フィルの活動ー

日本フィルHP 社会への取組▶

Playback プレイバック

6月～7月の公演を振り返ります



PHOTO 1

6月6日、7日　東京定期演奏会*

5月横浜定期からご一緒しているガボール・タカーチ＝ナジさんと、巨匠ミクローシュ・ペレーニさんをお迎えしての6月東京定期演奏会。ハンガリーの2人のマエストロとの共演は懐かしくもあり新鮮でもありました。そして第2ヴァイオリンの加藤祐一と川口貴が最後の東京定期出演だったので、みんなで記念撮影!



PHOTO 2

6月10日　第1回茨城県日本フィルハーモニー交響楽団　演奏会

25年ぶりのザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）での演奏会でした。
藤岡幸夫マエストロ、東亮汰さんとともにクラシックの名曲をお届けいたしました。コンマスのコンマス木野も一緒にぱしゃり。茨城の皆様、またお会いしましょう!



PHOTO 3

6月14日　横浜定期演奏会
6月15日　コバケン・ワールドVol.40

小林マエストロ、千葉清加のソロで、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番とマーラーの交響曲第1番《巨人》をお送りいたしました。



PHOTO 4

6月29日　セシオンまちかどコンサート

満席・大盛況でした!赤ちゃんからシニアの方々まで熱心に聴いていただき、田村・大貫・小中澤・久保SQの演奏もダイナミックに盛り上がりました。杉並の皆様の笑顔を身近に見ながら演奏できて幸せです。



PHOTO 5

7月4日　さいたま定期演奏会
7月5日　横浜定期演奏会*

原田マエストロとピアノに阪田知樹さんを迎えてオール・ラフマニノフの濃厚なロマンティシズムをお楽しみいただきました!横浜定期演奏会は恒例のシーズン・ファイナル・パーティも。お二人にもご参加いただき、写真撮影タイム!



PHOTO 6

7月6日　杉並定期演奏会

原田慶太楼さん、松田華音さんを迎えての、ラフマニノフ＆ラヴェルプログラム。ご来場ありがとうございました!
マエストロ、ソリストの松田さん、コンマス田野倉でパシャリ!

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

今年も第九は日本フィル!

第九特別演奏会 2025



©hiro.pberg_berlin

指揮：出口 大地

12/13（土）15:00
［ 横浜みなとみらいホール ］
【第413回横浜定期演奏会】

12/14（日）14:00
［ サントリーホール ］

ソプラノ：砂田 愛梨　メゾソプラノ：山下 裕賀
テノール：石井 基幾　バリトン：高橋 宏典
合唱：東京音楽大学（12/13）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/14）

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》



©山本 倫子

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

12/20（土）14:00
［ サントリーホール ］ 残席僅少

12/21（日）14:00
［ 横浜みなとみらいホール ］

12/23（火）19:00
［ 東京芸術劇場 ］
【第258回芸劇シリーズ】

12/27（土）14:00
［ 東京芸術劇場 ］
【第259回芸劇シリーズ】

12/28（日）14:00
［ 東京芸術劇場 ］
【第260回芸劇シリーズ】

オルガン：石丸 由佳　ソプラノ：小川 栞奈
メゾソプラノ：山下 牧子　テノール：錦織 健
バリトン：寺田 功治（12/20～23）
青山 貴（12/27、28）
合唱：東京音楽大学（12/20、21）
武蔵野合唱団（12/23）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/27、28）

J.S.バッハ：
トッカータとフーガ ニ短調BWV565 他
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

チケット料金（全席指定・消費税込）
S ¥10,000　A ¥9,000　B ¥7,500　C ¥6,000　P 合唱団席
Ys（25歳以下）¥4,000　Gs（70歳以上）¥6,000（12/13除く、12/20完売）

好評発売中

協賛　エレコム株式会社（12/14）、ローム株式会社（12/20）、千代田化工建設株式会社（12/21）、非破壊検査株式会社（12/23）、大栄不動産株式会社（12/27）、ウエルシアホールディングス株式会社（12/28）

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日10時-17時）
eチケット♪［ 席を選んで申し込みできます ］ https://eticket.japanphil.or.jp/

utena

絶滅危惧化粧品



投稿で助けてください

#ウテナモイスチャーを救え

utena
Moisture
ウテナ モイスチャー



お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

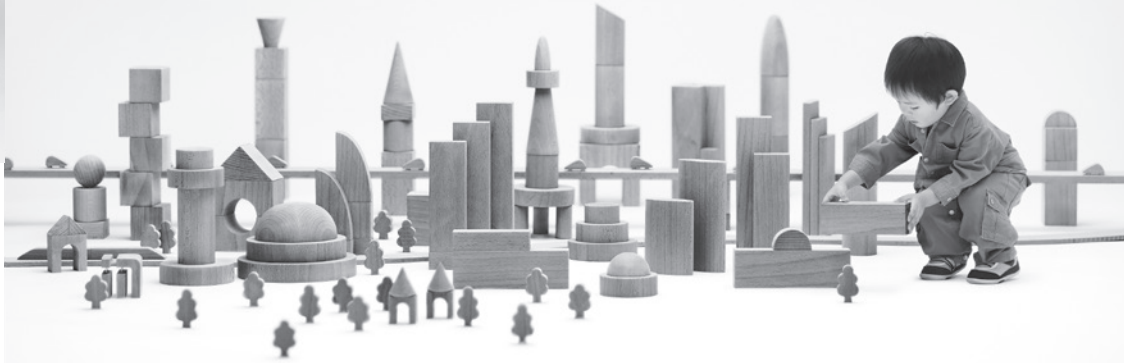
1983年生まれのアロエエキス(保湿成分)配合スキンケア　ウテナ モイスチャーは

40年以上、愛用者の皆様の美肌を支え続けてきました。

これからも、たくさんの美肌を生み出せると信じています。

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411　www.utena.co.jp

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

つぎはなにが
できるんだろう

子供たちに何が残せるか。
それは、これからもずっと住みやすい環境ではないだろうか。
一度失えば取り戻すことの難しい環境について、
何ができるのか考え続けている。
私たちは、解体の技術やノウハウで
人にやさしい環境づくりを目指して社会に貢献していく。
すべての人にやさしい環境を、つくりたい。

人にやさしい環境をつくる。



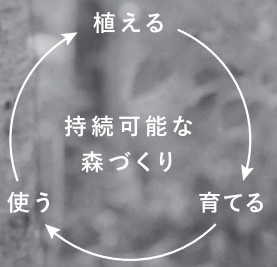
人にやさしい環境をつくる。

TANAKEN

BRANDING WEBSITE

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植える→育てる→使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん

◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林　北海道　深川市湯内

ストーリーを変える、
ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform Tomorrow Today





最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株) 京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール **donation@japanphil.or.jp** まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

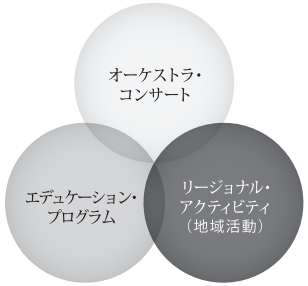
ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

その他右ページも御覧ください

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《*オーケストラ・コンサート*》
音楽との出会いを広げる《*エデュケーション・プログラム*》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《*リージョナル・アクティビティ*》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 福永 謙二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎
岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太
株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮 滿
共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方 健志
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 梁瀬 哲夫
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井 信宏
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
株式会社シェルター 代表取締役会長 木村 一義
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹
杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
TANAKEN株式会社 代表取締役社長 中尾 安志
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田 裕之
千代田化工建設株式会社 代表取締役社長 太田 光治
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカケンメイ
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代
THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 佐野 傑
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 城田 宏明

株式会社東京交通会館　代表取締役社長　細包　憲志
東京美装興業株式会社　代表取締役社長　八木　秀記
東洋熱工業株式会社　代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
学校法人東京音楽大学　理事長　丸山恵一郎
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社ナミキ　代表取締役会長　並木　洋一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　三輪　正浩
株式会社ニフコ　代表取締役社長　柴尾　雅春
日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長・CEO　市井　明俊
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　今井　正
日本電子株式会社
代表取締役社長 兼 CEO　大井　泉
日本パーカライジング株式会社
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　名倉　健司
株式会社バッファロー　代表取締役社長　牧　寛之
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
税理士法人ヒイラギ　代表社員税理士　黒田　榮治
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
株式会社美禅　代表取締役　堀　哲昭

非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
株式会社ファミーユ　代表取締役　新庄眞帆子
富国生命保険相互会社　代表取締役社長　渡部　毅彦
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
古河産業株式会社　代表取締役社長　伊藤　啓真
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO　清明　祐子
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸文株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者　堀越　裕史
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　福留　朗裕
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井不動産株式会社　代表取締役会長　菰田　正信
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　久井　大樹
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　高井　直哉

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　伊佐早禎則
三菱地所株式会社　執行役社長　中島　篤
三菱重工業株式会社　取締役会長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　代表取締役 社長　斉藤　秀親
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　泉原　雅人
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役社長　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
代表取締役社長　川上　潤
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広

株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　東　克己

匿名5名

（2025年9月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

青山やすし　東京都
秋元　和美　東京都
明田　重樹　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
新井　康允　神奈川県
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
安西祐一郎　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　百栄　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石津　寿惠　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊藤　昌司　東京都
伊藤　好彦　東京都
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　神奈川県
上田　泰邦　東京都
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　麗子　東京都
大久保　昇　神奈川県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大坪　昌広　東京都
大森　京太　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
荻窪祝祭管弦楽団　東京都
尾澤　弘久　東京都
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　昌子　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
片山　茂　千葉県
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤　久喜　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　清　千葉県
金子　肇　千葉県
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多𠮷久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木下　盛弘　東京都
木村　惠司　神奈川県
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
久保田伸一　群馬県
倉谷　宏樹　東京都
栗原眞知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
胡口　靖夫　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
坂井　康柄　神奈川県
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
佐藤　正知　東京都
佐藤　順英　福島県
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉本　功　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
空田　幸徳　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
積田　孝一　東京都
一般社団法人
東京フロイデ合唱団　東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
中西　祥子　東京都
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
那須　雄治　東京都
棗 年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西谷　公男　東京都
西村　醇子　神奈川県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　順子　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
濱田　尚人　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
広瀬　晴子　神奈川県
廣田　直人　東京都
深沢　茂実　神奈川県
深見　敏正　東京都
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤原　真也　東京都
星　桂太朗　東京都
細谷　義徳　千葉県
牧野　澄夫　東京都
増井　俊之　神奈川県
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松村　美希　東京都
真野美千代　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮本　裕二　兵庫県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森川　智之　神奈川県
森田　大輔　神奈川県
森田ハルヨ　東京都
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　岳彦　栃木県
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
山本　棟子　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉江　健志　千葉県
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉谷由美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邊　裕志　山口県
Maru
M.K.
匿名65名

（2025年9月15日現在
50音順・敬称略）

日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名

青木　孝
青木　隆
赤星　弥生
荒井　隆志
有田　正治
石田　尚身
石田　英雄
伊藤　正明
岩崎　貞明
海野　尚久
大塚　宏二
小田倉　正
柏崎　和枝
鹿島　道
加藤　明
金本　順子
神谷　薫
萱場　基
岸田　正博
北宮千恵子
木村　繁
倉田　茂
蔵貫　義朗
斎木　典子
坂本　博志
相良　幸男
佐藤　安雄
清水　浩憲
下山　泰彦
菅原　章文
鈴木　重行
鈴木　富美
住江　慶子
隅田　真
高津　正徳
武井　新
武田　幸子
田中　諄
坪井　憲治
東保裕の介
富澤　裕
富田　節子
永井　福枝
永田　康
中山　泰子
野中　和行
羽田　洋子
羽生　賢次
早川征一郎
深沢　茂実
藤井　行雄
藤川　寿彦
藤村　文二
古川　武志
古瀬　明弘
本堂　毅
増田　文彦
松井　務
皆川　文弘
三好　敦生
民放労連関東地方連合会
渡辺　勝次
渡辺　政則

（2025年10月1日現在
五十音順・敬称略）

Member's TVU CHANNEL
CLASSICAL MUSIC
クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます（特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

5月25日 名曲コンサート　指揮:カーチュン・ウォン ヴァイオリン:服部 百音
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲　マーラー:交響曲第5番

6月6日 東京定期演奏会　指揮:ガボール・タカーチ=ナジ チェロ:ミクローシュ・ペレーニ
ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲　ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲
モーツァルト:交響曲第41番《ジュピター》

7月5日 横浜定期演奏会　指揮:原田 慶太楼 ピアノ:阪田 知樹
ラフマニノフ:ヴォカリーズ、パガニーニの主題による狂詩曲、交響曲第2番

7月11日 東京定期演奏会
指揮:広上 淳一 バス・クラリネット:フランス・ムソー 女声合唱:東京音楽大学
佐藤聰明:バス・クラリネット協奏曲《ファン・ゴッホへのオマージュ》
ホルスト:組曲《惑星》

9月12日 東京定期演奏会　指揮:カーチュン・ウォン
マーラー:交響曲第6番《悲劇的》

9月21日 芸劇シリーズ　指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:髙木 竜馬
伊福部昭:SF交響ファンタジー第1番　ラヴェル:ピアノ協奏曲
ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

9月27日 さいたま定期演奏会　指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:神尾 真由子
サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲第3番　チャイコフスキー:交響曲第5番

10月17日 東京定期演奏会
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小川典子* トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ*
ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番*　ショスタコーヴィチ:交響曲第11番《1905年》

■ 定年のお知らせ

ヴァイオリンの西村優子が2025年9月10日に定年を迎えました。西村は1987年12月に入団し、ヴァイオリン・セクションの要として活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

■ インターネットラジオ OTTAVAに出演いたしました

10月31日、11月1日開催の第775回東京定期演奏会でソリストを務める千葉清加、安達真理が、インターネットラジオOTTAVAに出演し、曲目や今の日本フィルについて語りました。

詳しくはこちらから▶

■ もうすぐ発売

2025年11月26日（水）発売

第261回芸劇シリーズ

2026年3月8日（日） 14:00 開演
東京芸術劇場

指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
ホルン：信末 碩才［首席奏者］

芥川也寸志：交響管絃楽のための音楽
R.シュトラウス：ホルン協奏曲第1番
ストラヴィンスキー：
バレエ組曲《火の鳥》（1945年版）

1回券料金
S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000
Gs（70歳以上）¥5,000 Ys（25歳以下）¥2,500

2分でわかる 大人のためのオーケストラ入門
Japan Philharmonic Orchestra

あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典吏子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道がお答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

①毎月10日・20日の19時　日本フィルのSNSで公開!
②ロングバージョン「2分でわかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開
③これまでの「5分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」もそのままアーカイブ化

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

9月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）田中 篤、匿名4名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日10 時 ～17 時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 暁雄	首席指揮者	カーチュン・ウォン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン		
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ		

ソロ・コンサートマスター	扇谷 泰朋				
ソロ・コンサートマスター	木野 雅之				
ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋				
アシスタント・コンサートマスター	千葉 清加				
第1ヴァイオリン	伊藤 太郎	太田 麻衣	九鬼 明子		
	齋藤 政和	榊 渚	竹歳 夏鈴		
	谷﨑 大起	田村 昭博	中谷 郁子		
	西村 優子	平井 幸子	本田 純一		
第2ヴァイオリン	遠藤 直子	大貫 聖子	岡田 紗弓		
	神尾あずさ	佐藤駿一郎	末廣 紗弓		
	豊田 早織	町田 匡	松川 葉月		
	山田 千秋				
ヴィオラ	安達 真理☆	江藤 史織	小俣 由佳		
	小中澤基道	児仁井かおり	高橋 智史		
	中川裕美子	中溝とも子	松澤 稚奈		
ソロ・チェロ	門脇 大樹				
ソロ・チェロ	菊地 知也				
チェロ	石崎 美雨	伊堂寺 聡	江原 望		
	大澤 哲弥	久保 公人	篠原 和仁		
	山田 智樹				
コントラバス	鈴村 優介	成澤 美紀	宮坂 典幸		
	森田麻友美	山口 雅之			
フルート	真鍋 恵子◎	齋藤 光晴	難波 薫		
オーボエ	杉原由希子◎	松岡 裕雅○	佐竹 真登		
クラリネット	伊藤 寛隆◎	楠木 慶○	照沼 夢輝		
ファゴット	田吉佑久子◎	鈴木 一志○	中川日出鷹		
ホルン	丸山 勉☆	信末 碩才◎	伊藤 舜		
	原川翔太郎	村中 美菜			
ソロ・トランペット	オッタビアーノ・クリストーフォリ				
トランペット	大西 敏幸◎	犬飼 伸紀○	中里 州宏		
	中務 朋子	星野 究			
トロンボーン	伊藤 雄太◎	笠間 勇登○	福島 莉那		
バス・トロンボーン	中根 幹太				
テューバ	柳生 和大				
ティンパニ	エリック・パケラ◎	池田 健太○			
パーカッション	大河原 渉	本間 雄也			
ハープ	松井 久子				
楽団長	伊藤 寛隆				
チーフステージマネージャー	阿部 紋子				
ステージスタッフ	長橋 健太	森田 大翔			
チーフインスペクター	佐藤駿一郎				
インスペクター	鈴村 優介	谷﨑 大起			
ライブラリアン	鬼頭さやか	坂庭 吏映	杉本 哲也		

☆客演首席奏者　◎首席奏者　○副首席奏者　□試用期間

会長（代表理事）	平井 俊邦
理事長（代表理事）	石塚 邦雄
副理事長（代表理事）	五味 康昌
専務理事（代表理事）	福井 英次
常務理事（代表理事）	後藤 朋俊
理事	石井啓一郎／佐々木経世
	田村 浩章／戸所 邦弘
	葉田 順治／福本ともみ
	別府 一樹
監事	福澤 宏哉／細谷 義徳
評議員会会長	加藤 丈夫
評議員	青井 浩／安孫子 正
	荒蒔康一郎／石村 等
	稲垣 尚／内川 清雄
	大塚 宣夫／梶浦 卓一
	河北 博文／喜多 崇介
	木村 惠司／久保田 隆
	小林研一郎／島田 精一
	津田 義久／中根 幹太
	西澤 豊／野間 省伸
	福満 一夫／村上典吏子
	山口多賀幸
名誉顧問	熊谷 直彦
名誉顧問	島田 晴雄
名誉顧問	田邊 稔
チーフマーケティングオフィサー	伊藤 治彦
マネジメント・スタッフ	淺見 浩司／磯部 一史
	江原 陽子／及川ひろか
	小川紗智子／荻島 里帆
	賀澤 美和／香取 春子
	金田 雅子／小須田 萌
	佐々木文雄／澤田 智夫
	篠崎めぐみ／杉山 綾子
	杉山まどか／高橋 勇人
	田中 正彦／槌谷 祐子
	中村沙緒里／西田 大輔
	西田 真菜／長谷川珠子
	樋高 雄太／藤田 千明
	古舘 順一／益滿 行裕
	宗澤 晶子／山岸 淳子
	吉岡 浩子／和田 美希
シニア・パートナー	新井 康允／伊波 睦
	永島 義郎／南部 洋一
	吉江 信博

団友：
青柳 哲夫／青山 均／赤堀 泰江
新井 豊治／石井啓一郎／伊藤 恒男
伊波 睦／宇田 紀夫／遠藤 功
遠藤 剛史／大石 修／覓 美知子
柏熊由紀子／加藤 祐一／金本 順子
蒲谷 隆行／川口 和宏／川口 貴
菊田 秋一／岸良 開城／吉川 利幸
木村 正伸／小林 俊夫／小山 清
斎藤 千種／佐々木裕司／佐藤 玲子
菅原 光／髙木 裕子／髙木 雄司
高木 洋／高倉 理実／髙山 智仁
田沢 烈／立川 和男／堂阪 俊子
富樫 尚代／豊田 尚生／中川 二朗
永田 健一／中務 幸彦／奈切 敏郎
橋本 洋／畑井紀代子／平賀 法子
福島 喜裕／松本 克巳／松本 伸二
三本 克郎／宮武 良平／三好 明子
森 茂／山下 進三／山科 淑子
渡辺 哲雄

（2025年10月1日現在）

チケットお申込・お問い合せ

［日本フィル・サービスセンター］
TEL.03-5378-5911（平日10時～17時）
eチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
https://japanphil.or.jp

公式 X（旧Twitter）
@Japanphil

公式アカウント

公式インスタグラム

日本フィル公式YouTube / @JapanphilMovie
「2分でわかる！
大人のためのオーケストラ入門Plus＋」
＼毎月10日・20日にお届け／